

当社ではバネル式真空コンクリートを採用されたい官公庁・設計事務所・建設商社様に 試験施工・テストビース・サンブル制作のご協力を致しておりますのでお気軽にご連絡下さい。



パネル式 真空コンクリート

パネル式真空コンクリート当エリアでは丸和企画だけの技術です。

パネル式 真空コンクリートとは

コンクリート中に含まれた余剰水や気泡を真空状態にして抜くことで、高い強度を生み、早期開放でき る工法です。パネル式 真空コンクリートには、大別してパネル工法とシート工法の2種類の方法があり ますが当社は導入以来パネル工法を導入。水を吸い上げやすく、平坦性を保てる当社独自のパネルを使 用し、長期間、より高強度の真空コンクリートを創り出しています。また、真空コンクリートパネル工法 には、「**平面**(平面の真空処理)」と「◎型すべり止め(スロープ面の真空処理)」の2種類があります。

パネル式 真空コンクリートの ポーイ



水セメント比 (W/C)縮小

パネル式真空コンクリートでは、コンクリート中の単位水量の 5~10%を吸引除去し、**W/C比を小さくする**ことができます。 その数値はコンクリート配合などによって異なりますが、 おおむね3~6%ほどの低下が期待できます。



初期強度 増大

打設直後のコンクリートに含まれる余剰水やエアを抜いて W/C比を下げ、さらに、大気圧を利用して締め固めることにより 「W/C比と強度」と「加圧と強度」のふたつが作用し、普通に施工 したものに比べ、強度は増大します。



摩耗抵抗性 増大

パネル式 真空コンクリートによる施工と自然養生の施工とを比較すると、 耐摩耗性は2.0~2.5倍以上増大します。とくに若材齢で、

初期強度の増大が期待できますので、耐摩耗性はさらにアップします。



凍結融解 抵抗性增大

真空処理したコンクリート供試体は、水中凍結融解試験において、 300サイクルでも破壊はありません。同時に、硬化収縮量も 減少するので、収縮によるひび割れも減少します。

パネル式工法は50年の実績



打ち込みコンクリート舗装の早期強度発現による工事期間の 短縮や、耐摩耗性・耐クラック性に優れることから、 2倍以上のロングライフを実現。

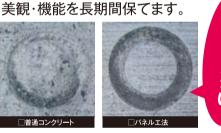
品質を高めることにより、メンテナンス費用の削減にも役立ちます。



5年経過時の表面磨耗比較

表面硬度の増大した、高強度の コンクリートは、耐摩耗性に 大変優れているので、施工当時の





平 面 車道·歩道·土間等、平坦な場所

- 料工期短縮
- 高い作業性
- 👸 ムラの無い真空処理



○型すべり止め 財車場進入路、林道等勾配(こうばい)のあるスロープ

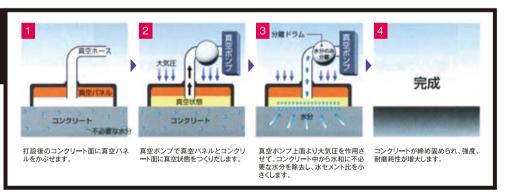
- (で)美しい表面テクスチャー
- ※ 高い滑り抵抗性
-)高い耐久性・耐摩擦性



□刷毛引き仕上げ

パネル式 真空コンクリート の作業手順

打設直後のコンクリート表面に真空コン クリート用パネルを被せ、真空ポンプによ りコンクリート中の水和反応に不必要な 余剰水分を吸引除去します。真空パネル 下面に真空状態を作り出すことによって、 1m²当たり6~8tの大気圧が作用し、コン クリート天端が大気圧に押されて締め固



|車道・歩道・土間等平坦な場所に最適です。



及び天端均し ポンプ車または直取りなどに ポリコンクリートを打設し、そ パネルを被せ、真空ボンブを の表面を木ゴテなどにより所 稼働。真空パネルがコンクリ 定の高さで均一に均します。 注:元請業者でお願いします。

コンクリートの打設



バイブレーターによる圧縮 ートに密着するようにハンドバ イブレーター等で圧着します。





■真空パネルの跡を木ゴテ・ ■刷毛引き仕上げ 回転ゴテで仕上げる コンクリート天端均し後、真空 真空処理終了後、真空バネ 真空バネル移動後、木ゴテ 均した後、刷毛目をつけま 真空コンクリート平面工法 バネルを被せ、真空ポンプを ルを移動させます。 や回転ゴテで十分に均しま す。 施工完了。

Work Procedure

パネル式 真空コンクリート

十分に均します。

○型すべり止め |駐車場進入路、林道等勾配のあるスロープに最適です。



ます。 注:元請業者でお願いします。

コンクリートの打設 ポンプ車または直取りなど コンクリートの天端均し後、 によりコンクリートを打設し、 その表面を木ゴテなどによ

り所定の高さで均一に均し 置します。

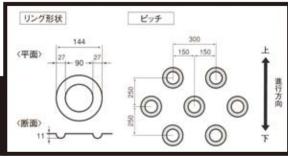
□◎型ゴムリング配置 すべり止めリングを定規に 従い、◎型ゴムリングを配

で、異学がファを稼働。 パネルがコンクリートに密 着するようにハンドパイプレ

コンクリートの天端と同じに なるように真空パネルを被 せ、真空ポンプを稼働。真空

配置した◎型ゴムリングが 真空処理終了後、真空パネ

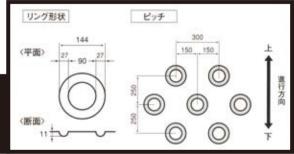
直空パネルの跡を木ゴテ・ 回転ゴテで仕上げる 真空パネル移動後、◎型ゴ 均した後、刷毛目をつけま ムリングが埋め込まれた状態で、木ゴテや回転ゴテで



□真空パネルを移動 真空パネル配置&ハンド バイブレーターによる圧着

ーター等で圧着します。

◎型ゴムリング 基本配置図



□◎型リング抜き取り 刷毛引き後、埋め込まれて 真空コンクリートエ法◎型 いる◎型ゴムリングを抜きすべり止め工事施工完了。

□○型すべり止め施工完了